

北海道函館五稜郭支援学校

学校だより

第3号

発行者

北海道函館五稜郭支援学校

Tel 0138-53-9395

校長 田近 憲二

令和元年度 第3号

令和2年3月24日（火）

「今年度の年度末は」

校長 田近 憲二

今年の函館、道南の冬は、年前から少雪で暖かな冬の始まりでした。年が明けても、函館は例年にないような雪の少なさ、この冬は、暖かく、そして雪も少なく過ぎていくのだろーと思っていましたが、2月の中旬には、新型肺炎、新型コロナウイルスの影響により、外出制限やイベントの中止、街からはマスクがなくなり、トイレットペーパーがなくなるとのデマも流れ、スーパーやドラッグストアには長蛇の列、等々社会的にも混乱した冬となりました。また、知事の緊急事態宣言を受けて、2月末からは、小、中、高、特別支援学校と全校種での臨時休業が始まりました。本校でも、当初3月3日に予定していた卒業式が延期となりました。その後、6日には、卒業生と教職員のみとなってしまいました。令和になって初めての卒業式を挙行することができ、卒業生16名が本校を卒業し、社会への道を歩み始めました。それぞれの卒業生のこれからの道が豊かなものになるように祈っています。

さて、本校は2月27日から臨時休業となり、年度末の本日に至っております。この間、新型コロナウイルスの感染、感染拡大の恐れから、集団の場には極力行かないなど、実質的には外出への制限がある中で、おおよそその生活は家庭での生活となっていると思います。そのような状況下ですが、昨年度の学校だよりの中に、次のような文章を書いていたので、再度、その原稿を読んでもいただければと思います。

『さて、子どもたちの生活習慣の乱れが問題になってからだいぶ経ちます。これらの問題行動を解決するためには、子どもたちの生活基盤である家庭での生活習慣を整えることも必要です。子どもの対人関係能力や社会適応能力の育成のためには、適切な「愛着」形成が重要であると言われています。すなわち、子どもが安定した自己を形成するためには、保護者の役割が大切であるとも言えます。子どもの健全な発達のためには、基本的な生活リズムや食事習慣の獲得が求められています。さらに情動は、生まれてから5歳くらいまでにその原型が形成されるため、乳幼児教育の重要性を理解した上で、特に保護者として子どもへの愛情をどう伝えるか、思春期、青春から大人へのこの時期にどう対応していくかは、学校と保護者がともに考え行動していく必要があると思います。課題解決のため、次のような取組はどうでしょうか。「適切な運動、調和のとれた食事、十分な睡眠」の三つです。適切な運動は、学校で取り組めるとしても、家庭における食事や睡眠などの習慣付けが大切であるということは理解していただければと思います。

高校生という時期は、身体的にも大きく成長し、外面的には大人の手を離れたように見える時期でもあります。しかし、心の成長は大人と呼ぶにはほど遠く、自分自身でコントロールするすべを持っていません。この時期だからこそ保護者として、「することを温かく見守る、決して手元から離さない」姿勢を貫いていただきたいと思います。』



と、昨年度の学校だよりの原稿で記述していました。まだまだ家庭での生活、家庭学習期間が続きますので、家庭ではそんな気持ちで、それぞれのお子さんと接していただければと思っています。

今日をもって、今年度の教育活動は終わりますが、今年度の本校へのご協力とご理解に感謝申し上げますとともに、次年度も本校へのご理解とご協力をお願いいたします。

そして、最後に、次年度は本校にとっての最終年度、閉校年度となりますこと、改めてお伝えしておきます。

「思い出の見学旅行！」

11月11日(月)～15日(金)まで4泊5日の日程で関東関西方面へ見学旅行に行ってきました。1日目は浅草寺や仲見世界隈を歩き、浅草の伝統工芸、食品サンプルの製作を体験しました。天気が気になる東京スカイツリー展望台からの景色は、くっきりとまではいかないものの東京の街並みが見渡せました。足下が見えるガラスの上を歩いて歓声を上げる生徒もいました。

2日目は自主研修。秋葉原やお台場、渋谷と定番の研修場所の他に三鷹の国立天文台に足をのばすグループもあり、バリエーションに富んだ研修でした。

3日目からは関西方面へ。京都市は平等院、金閣寺、清水寺の見学でした。平等院では10円玉と見比べたり、まばゆいばかりに光り輝く金閣寺に歓声を上げたり、清水寺では音羽の滝の水を堪能し、お土産を何にしようかと悩みつつ、限られた時間ながらも古都の一日を過ごしました。

4日目は今回の旅行のメインであるユニバーサル・スタジオ・ジャパン。グループに分かれて、ハリーポッターやミニオン、ジュラシックパークなどのアトラクションで、夢のような時間を楽しみました。

最終日は伊丹空港で最後の買い物。天候にも恵まれた旅行でしたが、函館の街は真っ白な銀世界。上空で30分ほど待たされてようやく到着。最後の最後に悪天候に泣きましたが、生徒の皆さんにとっては一生の思い出に残る見学旅行だったのではないのでしょうか。皆さん、お疲れ様でした。(文責:友善)



交流祭

今年度の交流祭は、これまで行っていた「作業体験」を「学習発表」に内容を変え、昨年4月に開校した北海道函館高等支援学校の生徒の皆さんをお招きするなど、新しい試みを取り入れて行いました。

「学習発表」では、本校生徒が流通・サービスの授業や見学旅行、防災について学んだ内容をスライドや動画を使うなどわかりやすく紹介するための工夫をし、ステージで発表しました。函館高等支援学校からは食品デザイン科、福祉デザイン科、生産技術科、普通科から、各学科の紹介をしていただきました。

「学習発表」と並行して行われた「喫茶」では、本校生徒が店員となり、手作りのパウンドケーキと飲み物を来校者にサービスしました。生徒はたくさんの人がいることに圧倒されて緊張しながらも授業を通して練習した成果を発揮し、接客や飲み物の準備など、自分たちの役割を行いました。

その後の「音楽交流」では、それぞれの学校の校歌を披露した後、本校生徒と函館高等支援学校の生徒が一緒に「世界に一つだけの花」を歌いました。来校者も一緒に歌うなど会場が一体となった、素敵な時間となりました。

午後には軽音楽部によるライブや生徒の歌やダンスなどの出し物、生徒自身が撮影や編集をした動画などの発表で楽しい時間を過ごしました。（文責：厚谷）



【お知らせ】

渡島管内教育実践表彰を受賞しました！

本校が平成23年に高等部を設置して以来、9年間にわたり「流通・サービス」の授業で行ってきた企業内作業実習が地域と連携した取組として認められるとともに、これまでに輩出した卒業生の就労率の高さやアビリンピックでの活躍が認められ、渡島管内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の中で今年度は4校だけが選出された「令和元年度渡島管内教育実践表彰」を受賞しました。

2月27日（木）に北海道教育庁渡島教育局の五十嵐 晋局長が来校し、田近校長に賞状を授与しました。

受け取った賞状はメモリアルルーム前の廊下に展示しておりますので、来校されたときには是非ご覧ください。（文責：教頭）



予餞会

2月21日(金)予餞会が行われました。例年よりも生徒数が減ったこともあり、午前のスポーツ交流を例年の1種目総当たり戦から、多種目代表戦による紅白戦に大きく変更しました。準備する学年も2学年のみなので例年よりも生徒の負担が増えて大変でしたが、「実行委員(生徒会三役)」をはじめ「記録係」や「プレゼント係」の生徒は懸命に取り組んでくれました。

当日午前中は、Aチーム(3A、2A)、Bチーム(3B、2B)に分かれて、「ピロポロ」「バドミントン」「フリースロー」「バスケットボール」を楽しみました。人数対策で企画した紅白戦でしたが、スポーツの得意な生徒も苦手な生徒も自分の楽しめる競技を選ぶことができたので、例年以上に楽しんでいるようでした。また、自分の競技ではない時間も同じチームの友達を応援する場面もあり、盛り上がっているようでした。

午後は、「軽音楽部ライブ」を皮切りに、「各学年からの出し物」を行いました。クイズやダンス、歌などたくさんの出し物があり大変盛り上がりしました。(文責：小林)



卒業式

3月6日(金)7期生16名の生徒が卒業しました。新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、参加は卒業生と教職員のみとなり、少し寂しく感じましたが、卒業生全員がしっかりと卒業証書を受け取りました。下校時は、校門付近で言葉を交わしたり写真撮影を行ったりするなど、別れを惜しんでいる様子も見られました。今後はそれぞれの場所で、本校の校訓である「感謝」の気持ちを忘れずに自分らしく活躍してくれることを期待しています。(文責：山崎)



退職・転出される先生

教諭 山本 正吾

（北海道北斗高等支援学校へ）

中学部で3年間、高等部で4年間、お世話になりました。閉校を見届けることなくこの学校を去ることは残念ではありますが、北斗高等支援学校にいますので皆さんの様子を知る機会もあると思います。最後の1年は少人数での学校生活となりますが、そこでの貴重な体験を将来の糧としてほしいと思います。7年間、ありがとうございました。

教諭 小林 義和

（北海道函館高等支援学校へ）

この度、函館高等支援学校に転勤することになりました。自分にとって五稜郭での7年間は、たくさんの思い出でいっぱいです。最後の学年を残して出るとは心残りですが、五稜郭で最後の高校生活を目一杯頑張って、目一杯楽しんでください。市内にはいますので、街で会ったら気軽に声をかけてください。

実習担任教諭 木戸 伸一

（北海道函館高等支援学校へ）

平成23年度の高等部開設から9年間勤務させていただきました。流通・サービス科での清掃作業、毎年、生徒たちが資機材の準備や後片付けの洗濯を一生懸命に取り組んでくれたことに感謝の一言「ありがとう！」

教諭 構口 美保

（北海道函館高等支援学校へ）

函館五稜郭支援学校には7年間勤務させていただきました。その間100名以上の生徒、保護者の皆様と素晴らしい出会いがあり、たくさんの思い出ができました。4月からは函館高等支援学校に勤務することになります。近くの学校ですので、またみなさんとお会いすることもあると思います。今後ともよろしくお願いいたします。

教諭 加藤 琢也

（北海道北斗高等支援学校へ）

3年間という短い在籍となりましたが、五稜郭支援学校では本当に多くのことを学ばせていただきました。生徒たちが、3年という限られた時間の中で進路を決めていく様子を間近で見て、その難しさを痛感しましたし、同時に生徒たちの成長も実感することができました。この大切な経験を糧にしながら、新しい学校の生徒たちと関わっていきたいと思います。本当にありがとうございました。

教諭 武藏 貴幸

（北海道帯広聾学校へ）

約4年間五稜郭支援学校で勤務をさせていただきました。この4年間で私自身も生徒の皆様からたくさんのことを学び、教員として成長させていただきました。本当にありがとうございました。4月からは函館を離れますが、函館に来る用事もあると思いますので、もし街で見かけたときには声をかけてくれると嬉しいです。成長した生徒の皆様に出会えることを楽しみにしています。また会いましょう。

鳴海潤一教諭は、教員生活38年間、令和元年度におきまして定年退職を迎えられたことをお知らせいたします。また、令和2年度の閉校年度も引き続き、本校で勤務することを合わせてお知らせします。

令和2年度4月の行事予定

日	行事	日	行事
1日(水)	学年始休業(～7日)	16日(木)	歯科健診(13:30～ 3A・3B)
2日(木)	自閉症啓発デー(～8日)	17日(金)	尿検査①(3A・3B)
8日(水)	前期始業式	20日(月)	内科健診(14:00～ 3A・3B)
9日(木)	二計測(2校時:3A、3校時:3B)	21日(火)	耳鼻科健診(13:00～ 3A・3B)
14日(火)	スマホ・ケータイ安全教室(5校時)	29日(月)	昭和の日
15日(水)	眼科健診(14:00～ 3A・3B)		

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。



●電話相談

☎ 0120-3882-56

(無料、毎日24時間対応)

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談をご利用ください

センターWebページ



●来所相談

(10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話相談で予約してください。

※ センターの Web ページに、「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。次のURLからご覧ください。

URL <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>

北海道函館五稜郭支援学校

〒040-0001 北海道函館市五稜郭町39-13

TEL 0138-53-9395 FAX 0138-53-9397

goryoukakushien-z0@hokkaido-c.ed.jp

<http://www.goryoukakushien.hokkaido-c.ed.jp/>

